

日時：平成26年9月3日（水）
18：00～
場所：多摩区役所6階601会議室

第5期多摩区区民会議 第1回区民会議 次第

○委嘱状交付

開会

- 1 開会挨拶
- 2 出席者自己紹介
- 3 正副委員長の選出
- 4 議事
 - (1) 多摩区の地域課題について
 - (2) 第5期多摩区区民会議スケジュールについて

閉会

○その他事務連絡

<配布資料>

- | | |
|-------|--------------------------|
| 資料1 | 委員名簿 |
| 資料2 | 座席表 |
| 資料3 | 多摩区の地域課題について |
| 資料4 | 第5期多摩区区民会議スケジュール（案） |
| 参考資料1 | 多摩区現況マップ |
| 参考資料2 | 第4期多摩区区民会議報告書（概要版） |
| 参考資料3 | 第1期～第4期多摩区区民会議審議一覧 |
| 参考資料4 | 新たな総合計画策定方針 |
| 参考資料5 | 新たな総合計画の策定に向けた将来人口推計について |
| 参考資料6 | 川崎市区民会議条例・施行規則 |
| 参考資料7 | たまりぼうと（多摩区イベントカレンダー） |
| 参考資料8 | 多摩区まちづくり協議会広報誌 |

資料1

第5期 多摩区区民会議委員名簿

平成26年9月3日現在

任期：平成26年7月1日～平成28年6月30日 （敬称略・50音順）

NO	氏名	部会	推薦団体 及び 活動団体
1	アベ シュウジ 安陪 修司		多摩区商店街連合会
2	アライ セイイチ 荒井 精一		市民公募
3	イシバシ ヨシアキ 石橋 吉章		区長推薦
4	イワノ マサユキ 岩野 正行		多摩区観光協会
5	オガワ タケン 小川 剛		多摩区町会連合会
6	コクボ ヒサミツ 国保 久光		川崎市医師会多摩区医師会
7	コヅカ チツコ 小塚 千津子		多摩区こども総合支援連携会議
8	コンドウ キヨシ 近藤 清		多摩区自主防災組織連絡協議会
9	スギシタ ロクロウ 杉下 緑郎		市民公募
10	タカハシ ケンイチ 高橋 謙一		多摩区・3大学連携協議会
11	タザワ スケノブ 田澤 祐信		多摩防犯協会
12	ツジノ カツユキ 辻野 勝行		多摩区まちづくり協議会
13	トダカ ジンコ 戸高 仁子		かわさきかえるプロジェクト
14	ハイジマ ユミ 配島 裕美		多摩区地域教育会議
15	ハラダ ヒロシ 原田 弘		多摩交通安全協会
16	フジワラ ツカサ 藤原 司		川崎市多摩区社会福祉協議会
17	ホソノ タカミ 細埜 隆己		登戸土地区画整理事業まちづくり推進協議会
18	ヤノ ヒサキ 矢野 久喜		市民公募
19	ヤマシタ ヒロコ 山下 宏子		市民公募
20	ヨコ エイコ 余湖 英子		多摩区文化協会

【参与】

市議会議員

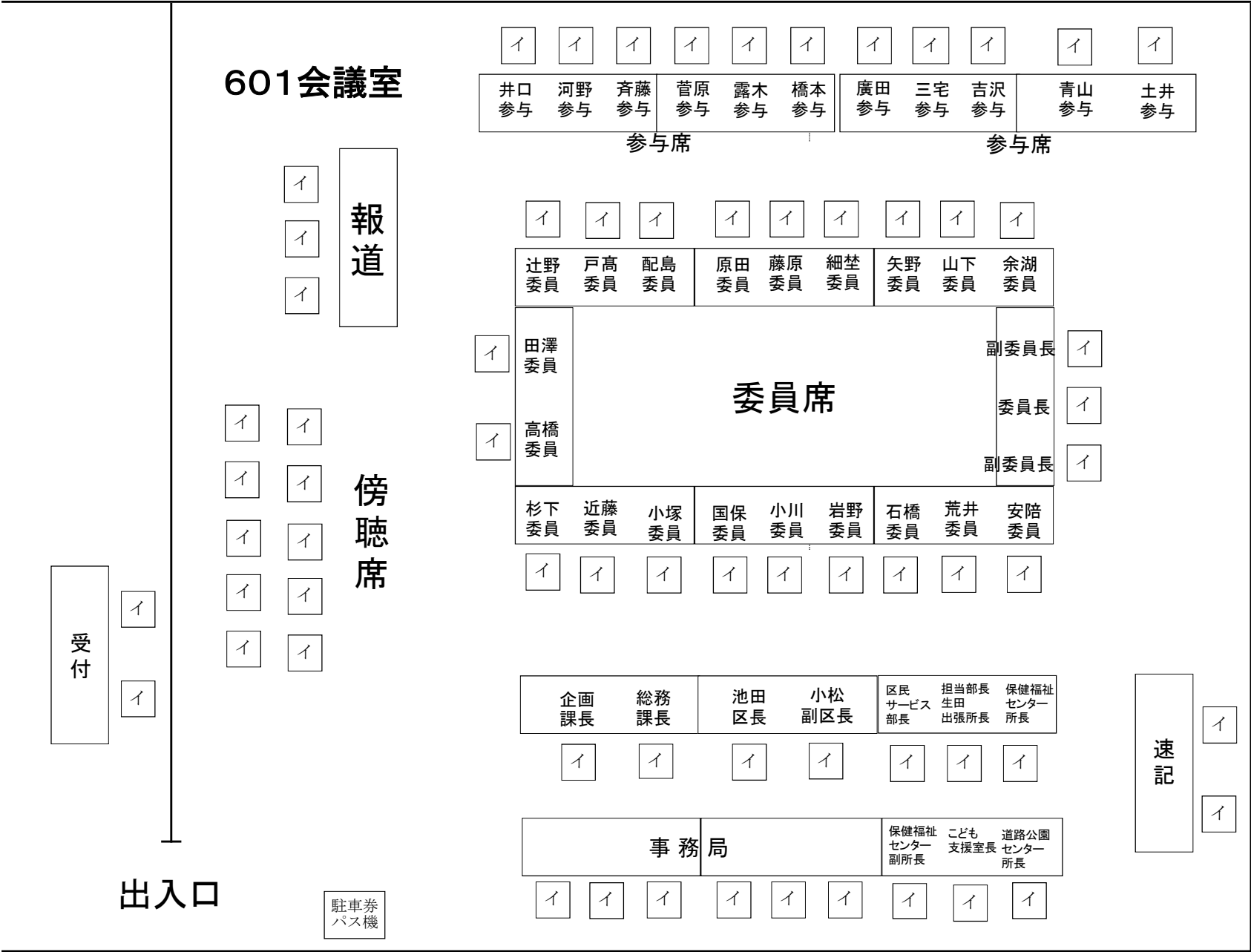
井口 真美 河野 ゆかり 斉藤 隆司 菅原 進 露木 明美
橋本 勝 廣田 健一 三宅 隆介 吉沢 章子

県議会議員

青山 圭一 土井 りゅうすけ

第5期多摩区区民会議 第1回区民会議 座席表

資料2



多摩区の地域課題について

平成 26 年 9 月 3 日（水）第 5 期多摩区区民会議全体会資料

○第 5 期区民会議で審議したい地域課題について、各委員から次のような意見が出されました。

提案者	分野	地域課題
安陪 修司	○地域活性・観光に関すること	・生田緑地を中心にして多摩区観光の拠点として周辺地域を集客により街中に活力をもたせる安心安全な街づくりの組織づくりをする。
	○地域コミュニティに関すること	・地域内で活躍する各種団体と市民行政とを結びつける方法を研究し活躍をする団体、支援を受ける人、行政の連絡窓口づくり
	○子育てに関すること	・範囲が広くなるが、子育て中の人、園児小学生等々に絞り問題点をあげ解決してゆきたい。
荒井 精一	○地域防災に関すること	■震災発生時の共助（救援）について ・共助について、第 4 期区民会議でも検討課題となりましたが、地域の高齢化によりいざという時（発災時）に頼りとなる救助する人員の不足を補う目的で学生達に焦点があたりました。この点についてより具体的な提案とすべく検討をすすめて参りたいと思います。 ・2013 年 5 月に横浜市は、「横浜市災害時自助・共助推進条例」を成立させましたが、その目的は、「この条例は、災害時における市民及び事業者の自助及び共助の理念並びにそれぞれの役割を明らかにすることにより、市民及び事業者の自発的な防災に関する活動の促進を図り、もって災害を軽減する減災社会の実現に寄与することを目的とする」とあり、条例によってそれぞれの立場の人たちが、積極的に防災の推進を行い易くしている。 ・第 5 期区民会議としても、より災害を軽減する減災社会の実現を可能とすべく、さらなる検討をすすめて参りたいと思います。

提案者	分野	地域課題
荒井 精一	○福祉に関すること	■高齢化社会への取り組みについて ・「一般人口統計 2013 年版」によると 2010 年（平成 22 年）の日本の高齢化率は 23.02%と主要国のなかでも、ダントツの状況である。 ・また、テレビなどの報道にあるとおり、高齢者の孤独死、認知症・徘徊、万引き、自動車事故等が連日報道される状況となっています。 ・これには、様々な要因がありますが、高齢化がそのまま進行し高齢者問題がさらに増え続けるならば、若い世代への負担が厳しいものとなることは確実です。 ・この問題に対してすぐ思いつくのは、医療や介護というテーマとなりますが、ひとつのキーワードとして、高齢者が自立していける「生涯現役」ではないでしょうか。このテーマのもとに高齢者問題への提言をまとめていきたいと思います。
石橋 吉章	○地域防災に関する こと ○福祉に関すること	・障害当事者を交えた宿泊を含む避難所訓練～障害の理解、啓発と避難所の実地訓練～
	○地域コミュニティ に関する こと ○福祉に関すること	・障害者の地域移行、地域包括支援センターのための地域医療と福祉の連携～地域医療の現状～
	○地域コミュニティ に関する こと ○地域活性・観光に 関すること ○地域の交通に 関すること ○福祉に関する こと	・公共施設を含む不特定多数が訪れる施設への交通アクセス～現状の調査からの提言～
岩野 正行	○地域防災に関する こと	・私は、商店会の役員として今春地元の町会の防災訓練に参加しましたが、商売を40年以上やっていて初めてでした。これからは、商店会も町会と一体で防災訓練を行い、災害に備えたいと思いました。
	○地域活性・観光に 関すること	・多摩区には、観光スポット生田緑地がありますが、いつでも行けるということで、地元の人々があまり利用していない。 ・一つの例ですが、日本民家園に古民家が25棟もあるのは、日本一であることを知っている人は少ないと思います。もっと生田緑地に足を運んで生田緑地の素晴らしさを内外に伝えてほしい。

提案者	分野	地域課題
岩野 正行	○福祉に関すること	・私達の地元では、生活保護者が多い様に思われます。昼間からパチンコ・飲酒をしている人をよく見かけます。 ・もっと生活保護者の規定を厳しくしてほしいと思います。
杉下 禄郎	○地域コミュニティに関すること ○地域活性・観光に関すること ○地球の交通に関すること	・多摩区を交通事故の少ない（市で一番の）町にしたい。マナーの悪さ、法規無視、自転車事故を減らしたい。 ・介護不要の健康な高齢者の区にしたい。多摩区の将来像は、自然と観光、大学のまちがイメージとして相應しい。市北部の中心は、新百合ヶ丘になりつつあると思う。
辻野 勝行	○地域コミュニティに関すること ○市民活動に関すること ○福祉に関すること	・高齢者の地域参画への支援。超高齢社会へ進展の中で健康長寿・健康長寿社会構築へ向けての高齢者の生きがいづくり・場づくり・仕掛けづくり。
	○地域コミュニティに関すること ○自然保全・創出に関すること ○子育てに関すること	・子育て支援・育児や教育など若者が結婚し子供を産み育て定住志向を育む環境づくり・まちづくり。
	○地域コミュニティに関すること ○地域活性・観光に関すること ○自然保全・創出に関すること ○景観に関すること	・地域交流や地域振興の支援。多摩区の魅力発掘、失われた価値の再生・再評価、活動団体のネットワーク化等を通じての新しい縁社会の構築。
戸高 仁子	○地域防災に関すること	・気候変動による災害への備えも急務なことが明らかになっていますが、各町内会でのそれぞれでできている事や現会員で出来ている事、高齢化や会員の減少・不足でできないで困っている事が見えてきていると思えるので、区としてできる対策、必要とされる対策は何かを明らかにして、具体的な政策提案につなげたい。 ※町会連合会代表者とも再度意見交換会を持つことや区が把握している現状をまず明らかにして、区民会議での取り組みを具体化したい。

提案者	分野	地域課題
戸高 仁子	○福祉に関すること	・少子高齢化が身近な問題として行政も企業も市民も、地域での取り組みがいろいろとなされていますが、個々の参加や活動は活発に行われているようですが、普段元気で暮らしている青年層や中高年層・新住民の方にも、地域での状況やご近所のお互い様のお付き合いが広がっているのかが、見えません。普段の生活でも顔の見える関係づくりがこれからは大切と考えます。もっと「見える化」と「つながり」を多摩区の状況にあった方法で身近に広げる方法を検討したいです。 ・コミュニティにこだわらず福祉の面からも見た、リンクできるような、地域にあった身近な「見える化」と「つながり」について検討したいです。
配島 裕美	○地域防災に関する こと ○その他（通学路）	・平常時の整備は区でもいろいろ予定されていますが、近年の異常気象や災害を想定した状況下も合わせて確認する必要があると思います。 例：昨年の大雨で枳形中学校の生徒の多くが、冠水した通学路を裸足になりズボンをまくり上げて登校した、ということもあります。中学校は避難場所にもなるところですし、他の小中学校の通学路ではどうだったのでしょうか。“あそこはそうなのよね！”だけでいいのでしょうか？
	○エコ・環境に関する こと	・路上へのゴミのポイ捨てが気になります。自販機周辺やコンビニから少し離れた路上に捨てられたゴミを見ることがあります。考えて欲しいです。
藤原 司	○地域防災に関する こと	・地域防災では、前期ではまだ完全な対策でなかった。今後継続して審議したいと思う。
	○自然保全・創出に関する こと	・自然保護については、多摩区だけの問題では無いが、住宅開発等で自然に失われていく自然保全をどう守ればよいのか検討を加えるべきと考える。
	○福祉に関すること	・福祉については、主に高齢者福祉の問題について山・城の多い地域でどのような対策があるのか検討したい。

提案者	分野	地域課題
細 埜 隆 己	○地域活性・観光に関すること ○子育てに関すること	・多摩区の商業・業務の中心地区として快適な市街地を形成することを目的として40年前に事業計画、27年前に事業決定している登戸土地区画整理じぎょうもまだ50%しか進んでおらず、道路を造るだけでは街にならず当初の目的通りに進んでいない現状です。公園も最後になり、区画整理地区内には1つの公園もありません。近くの保育所でも遠くまで外遊びに行かなくてはなりません。事業用地で遊んでいけば「ここは遊び場ではありません」の看板が立ち、まだ30～50年かかる区画整理で区民から見ても地域の活性、子育て支援、多摩区の顔になる街にはほど遠いように思います。
	○地域コミュニティに関すること	・商店、商業者から感じることは会話する人が減り、一言も話さない人がどんどん増えている。流通・行政関係からはクレマーが増え対応は膨大な労力を使う。どこへ向おうとしているのでしょうか。多摩区から発信「思いやりの心」
矢 野 久 喜	○地域コミュニティに関すること ○市民活動に関すること ○子育てに関すること	■子育て何でも相談センターの設置（7ページ資料参照） ・少子対策の重要性は改めて説明することは不要、今求められているのは子育て世代が何を困っているのかを知ること、それに対し具体的に何ができるのかである。 ・行政には「保健福祉センター児童家庭相談サポート担当」等、相談窓口は存在するが、行政として対応できる範囲に限られているであろうし、また敷居が高く感じる方もいるのでは。 ・そこで「子育て何でも相談センター」のような相談窓口を設置し、その運営、相談員はNPO法人に委託する。そこは子育て支援についての官民全ての情報を把握しアドバイスする、不足しているサービスを生み出すことも企画する。
	○地域コミュニティに関すること ○市民活動に関すること ○景観に関すること	■花壇・植栽の整備・管理を市民に委託（8ページ資料参照） ・その町の顔はやはり駅前・その近辺がその街の印象、景観を決めるであろう。多摩区であれば登戸/向ヶ丘遊園駅が街の顔であろうが、向ヶ丘遊園駅南口近辺の風景は褒められたものではない。（登戸駅・遊園北側は区画整理中でやむを得ないが、それにしてもひどい景観である） ・取り敢えずの試みとして、向ヶ丘遊園駅南口から稲生橋までの間の花壇・植栽の整備・管理を市民にボランティアとしてお願いする。TVのニュースで見たことがありますが、確か品川区では公共の場所の管理を一定の費用を出して市民に委託している例があります。

提案者	分野	地域課題
矢野 久喜	○地域防災に関する こと ○景観に関する事	■市民から情報・意見をもらう、「市民の目」サイト構築（９ページ資料参照） • Twitter、Facebook 等の SNS で市民が自由に投稿できる仕組みをもっている自治体があると聞いています。今やスマホ、デジカメ/PC は大半の方が持っている時代ですから、これらを使って市民からの情報、意見を画像で受け取ることは可能である。 • 受け取る情報、意見は自由で制限しないが、市民の意見、災害時の状況通知が想定される。

8.20.2014

不安解消、第2子ブーム

子育ての支え合いを促進するNPO法人の「なかまほいく」(埼玉県新座市)



「2人目ですか。おめでとうございます」。報告を受けたNPO法人新座子育てネットワーク(埼玉県新座市)代表理事の坂本純子(52)は表情をほころばす。2011年に始めた「なかまほいく」。その参加者に第2子出産ブームが起きている。母子何組かでグループをつくり、子を預けたり預かったり。かつては当たり前だった近所の助け合いを再現する試みだ。

昨年、次女を産んだ奥本寿美(36)は「長女の出産直後は育児がつらく、もう子はいらないと決めた」。近所付き合いがなく、夫が出勤すると母子2人きりでイライラが募った。そのとき「なかまほいく」を知った。年が近い子を持つ母親同士、すぐ打ち解けた。長女が人見知りで困ると相談すると「それくらい普通よ」と共感してくれる。心に余裕が生まれ、長女をいとおしむ気持ちが強くなった。「また産もうか」。悩んだ日々が嘘のように前向きになった。

核家族化は子育て世帯を追いつめる。ささいな悩みも聞いてくれる人はなく不安を募らせる。坂本は「子育ては楽しいと親が心から思えること。それが一番の少子化対策」と強調する。

愛知県豊橋市の会社員、野添順子(41)は第2子を妊娠中。長女を産んだ後、産後うつになったが「ホームスタート」に救われた。先輩ママが自宅で話し相手になる。普及団体のホームスタート・ジャパン(東京・新宿)によると66地域で活動中だ。

野添は09年に夫婦で転勤してきた。初めての育児は分からないことだらけ。頼れる身内や知人がおらず不安を抱え込んだ。やってきたのは3人の子を持つ先輩ママ。丁寧に悩みを聞き「大丈夫、心配ない」と励ましてくれた。「あのとき助けられなければ2人目はなかった」

国立社会保障・人口問題研究所(東京・千代田)の10年の調査によると、日本の夫婦が生涯に持つ子(完結出生児数)は1・96人。初めて2人を下回った。2人目を考える夫婦の迷いを払わなければ、少子に歯止めはかからない。

「考えすぎではダメ。ほしけりゃ産みなよ」。大阪市の助産師、小林寿子(40)はためらう母親に声を掛ける。長男(15)を筆頭に10人産んだ。1食で米を1升炊き、洗濯機は1日3回は回す。会社員の夫の帰宅は深夜。その分、兄姉が弟妹の面倒を見る。「完ぺきを目指すから産めなくなる。教科書通りにいかないのが子育ての面白さ。肩ひじ張らず楽しもうよ」(敬称略)

(参考資料—2) ■花壇・植栽の整備・管理を市民に委託

★向ヶ丘遊園駅南口から稲生橋前あたりの植栽の状況



駅前、TSUTAYSさんの前のベンチ・花壇
草ぼうぼうばかりでなく、ゴミ箱になっている

駅前の折り返し道路、
横断歩道近辺の空き地？
立派な案内看板が泣いてます



自転車置き場 端の芝生スペース、
何方かが、ご厚意で花やアジサイを植えているようです
これを公認活動とし費用を支援していけば、もっと立派な花壇になるでしょう
また参加のボランティアを増やし、その方たちのコミュニティの輪を広げていけば
整備できるスペースも増えると期待します

みずほ銀行付近、横断歩道近辺の
ぼさぼさのスペース



(参考資料—3) ■市民から情報・意見をもらう、「市民の目」サイト構築

＜投稿例－1＞

この状態を何とかしなければ、木がかわいそう、見ていて痛々しい
区役所さん、何とかしてください



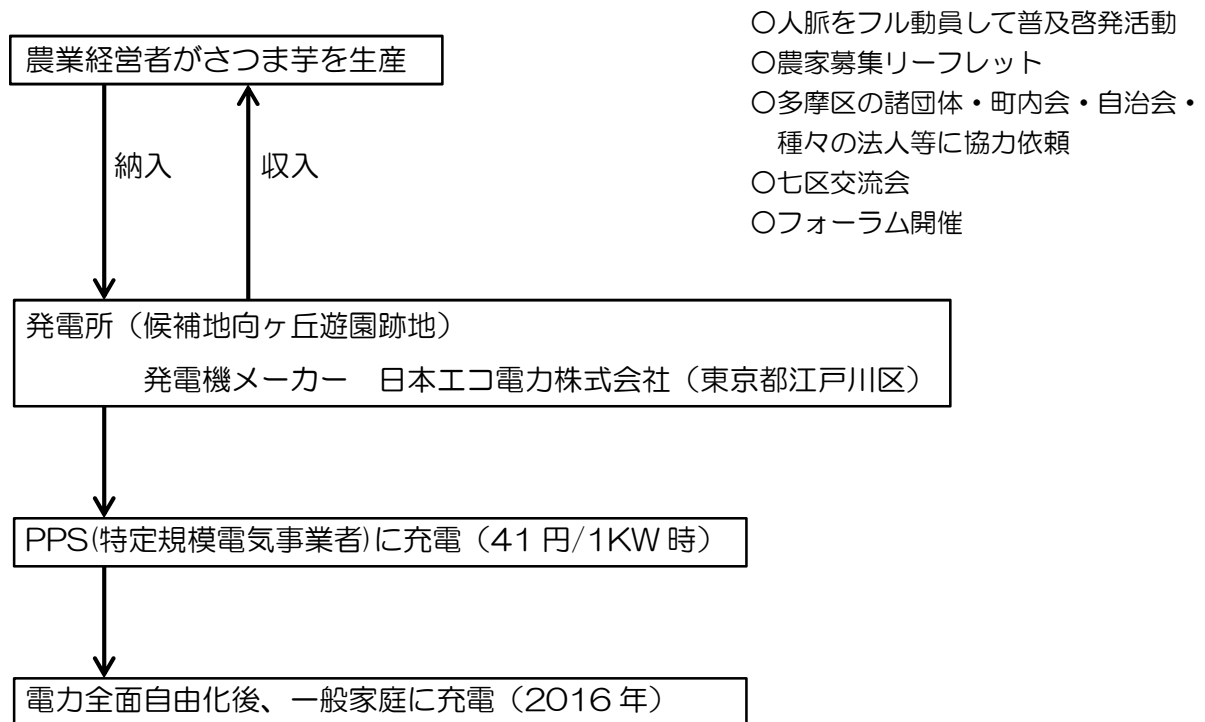
＜投稿例－1＞ せっかく点字ブロックを張ったのに、ボロボロ、修理されないで放置されてます



提案者	分野	地域課題
山下 宏子	○地域コミュニティに関すること ○エコ・環境に関すること ○自然保全・創出に関すること	・さつま芋による再生可能エネルギー発電を官産民の協働で取り組むことを提案します。 ・昨年末、市長に提案させて頂き、市役所環境局地球環境推進室岩上淳課長、伊藤孝夫係長と面談の結果、地域課題として、活動環境がある多摩区で取り組むようにご指導を頂き、車座集会でも提案させて頂き、この度、区民会議委員として提案の機会を頂きました。 ・区民会議、過去4期の協働テーマは、多摩区民の暮らしやすい地域社会をつくるための議題解決に取り組まれておりました。 ・この度の提案は、多摩区民のみではなく、日本の農業を活性化することが目的で、農村地域が抱える種々の問題とも関わります。 ・休耕地、遊休地、耕作放棄地、減反政策解除地等を利活用し、農山村の衰退に歯止めをかけ、農業に収入的な魅力をつくり、後継者不足を解消、雇用を創出し、高齢化による市町村の削減を防止、税収による地域の活性化、農業の都市計画として農業経営者を育てることです。 ・再生可能エネルギーの事業化には、未来を見据えた持続可能で経済的なエネルギー社会の実現が課題であり、全国的に共有できる仕掛けが必要です。 ・さつま芋発電は仕組みが出来上がれば、栽培がローテクですから、子孫の代までも未来永劫生産可能で全国どこでも育ちます。 ・さつま芋によるビジネスモデルを構築し、川崎市多摩区から全国の自治体に発信され、電力の地産地消、地域再生の産業として被災地の復興にも役立ってほしいと願います。 ・現在、化石燃料の輸入額20兆円を国内に還元し、二酸化炭素の排出量が抑制されます。 ※さつま芋エネルギーについては、次ページ参照。

さつま芋エネルギー

- 燃料用としての芋は大きく育てる必要はなく、小芋ほど重さが2倍になる時間が短く3cm大が6週間で育ち年6回収穫。
- 20アール（2000㎡）5000株で年間9000トン収穫、280世帯1日分の電力
- 生産者は仮に5円/kgで発電所に売り、年収450万円
- 発行過程で発生するメタンガス ⇒ 発電
- 発酵液を蒸留してエタノール ⇒ ガソリンの代替



次世代の日本を憂慮しております一人として提案させて頂きました。
ご検討を宜しくお願い申し上げます。

提案者	分野	地域課題
余湖 英子	○地域防災に関する こと	・広島の高雨での土砂災害をはじめ大雨とそれに伴う被害が全国で相次いでいます。 ・被害者の拡大に胸を痛め危機意識も高まっている今、改めて地域の災害対策について考え、見直し、知識を深めることが必要と思います。
	○その他	・多摩区には 85 年前から唄い継がれている多摩川音頭という北原白秋さん作詞の歌があります。 ・土地の名産品や名所・旧跡が盛り込まれて村の暮らしぶりや風情が伝わってくる唄です。 ・今は唄える人、踊る人の数も激減していますが、大切に残していきたい伝統芸能だと思います。この多摩川音頭だけではなく数ある多摩区の文化財・文化資源・伝統芸能の保存・継承についてを課題として提案させていただきます。

多摩区の地域課題について

平成 26 年 8 月 6 日（水）第 1 回区民会議ミーティング資料

- ・区民会議の審議課題については、区役所が把握している地域の課題や委員のみなさんが普段の活動を通じて感じている地域の課題などををもとにして検討します。

1. 区役所が把握している地域課題について

※参考資料 1：多摩区現況マップ

※参考資料 4：平成 23 年度区民意識アンケート結果参照

2. 委員のみなさんが把握している地域課題について

- ・委員のみなさんが普段の活動を通じて、区民会議で審議してほしい地域課題を挙げてください。
- ・審議してほしい地域課題については、次ページの「地域課題に関するアンケート」にご記入ください。（挙げる地域課題は、3 つまでとします）
- ・区民会議で審議する分野として、次のようなものが考えられます。これを参考にしてください。なお、施設の整備に関するものや国や県に関わるものなどは審議の対象になりません。

- | | |
|--------------------------------------|---|
| ☐ 地域コミュニティに関すること | ☐ まちの景観に関すること |
| ☐ 地域防災に関すること | ☐ 地域の交通に関すること |
| ☐ エコ・環境に関すること | ☐ 子育てに関すること |
| ☐ 地域活性・観光に関すること | ☐ 福祉に関すること |
| ☐ 自然保全・創出に関すること | ☐ その他（ ） |
| ☐ 市民活動に関すること | |

- ・また、いただいた地域課題については、優先順位や実施の可能性などの視点を踏まえ重点化します。

※次回の区民会議ミーティングの資料としてお出しするので、8月27日（水）までに区役所企画課までお送りいただくか、ご持参ください。別に資料を添付いただいても結構です。

郵 送：〒214-8570 多摩区登戸 1 7 7 5 番地 1

F A X：044-935-3391

メール：71kikaku@city.kawasaki.jp

地域課題に関するアンケート

お名前	
-----	--

地域課題の内容	分野（○をつける。複数可）
	ア) 地域コミュニティに関すること イ) 地域防災に関すること ウ) エコ・環境に関すること エ) 地域活性・観光に関すること オ) 自然保全・創出に関すること カ) 市民活動に関すること キ) 景観に関すること ク) 地域の交通に関すること ケ) 子育てに関すること コ) 福祉に関すること サ) その他（ ）
	ア) 地域コミュニティに関すること イ) 地域防災に関すること ウ) エコ・環境に関すること エ) 地域活性・観光に関すること オ) 自然保全・創出に関すること カ) 市民活動に関すること キ) 景観に関すること ク) 地域の交通に関すること ケ) 子育てに関すること コ) 福祉に関すること サ) その他（ ）
	ア) 地域コミュニティに関すること イ) 地域防災に関すること ウ) エコ・環境に関すること エ) 地域活性・観光に関すること オ) 自然保全・創出に関すること カ) 市民活動に関すること キ) 景観に関すること ク) 地域の交通に関すること ケ) 子育てに関すること コ) 福祉に関すること サ) その他（ ）

第5期多摩区区民会議スケジュール（案）（平成26年度）

		8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
全体会 （3 回開催）			第1回(本日) ・正副委員長 選出 など		第2回(11/19) ・専門部会設置 ・部会メンバー決定 など				第3回 ・平成26年度取りま とめ など
区民会議委員 ミーティング （3～4 回開催）		第1回（8/6終了） 第2回（9/18） ○自己紹介 ○区民会議の進め方について →全体スケジュール →部会の進め方 など ○区の課題の検討 →委員が普段感じている地域課題や区が 把握している地域課題を踏まえて、審 議課題になりそうなものを検討する など		第3回(10/15) ○専門部会の設置 （案）の検討 ○審議方針の検討 ○部会メンバーの 検討 など		○勉強会等で活用することも考えられる。（1回程度） （例：総合計画勉強会等）			
企画部会 （2～3 回開催）						第 1 回		第 2 回	
専門 部会 （各部会 3 回程度 開催）	A 部 会					第1回 ○地域課題の共有 ○審議課題企画提 案書の作成 など		第 2 回 ○委員による審議 課題企画提案書 のプレゼンテー ション ○プレゼンテー ションを踏まえた 地域課題の重点 化 ○審議課題の決定 など	第 3 回 ○地域課題の解決 方法の検討 ＜例＞ ・調査方法の検討 ・受け皿となる市民 活動団体の検討 など ○平成26年度の取 りまとめ
	B 部 会						※審議課題企画提 案書の作成期間		
区民会議だより （2回発行）						発行			発行

第5期多摩区区民会議スケジュール（案）（平成27年度）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会				第4回			第5回			第6回			第7回
区民会議委員 ミーティング		※必要に応じて勉強会等を開催											
企画部会			第3回			第4回			第5回			第6回	
専門部会	A部会	○課題の解決方法についての審議 <例> ・現況調査 ・受け皿となる市民活動団体などへのヒアリング ※モデル事業の実施なども考えられる。 など											
	B部会												
区民会議だより					発行				発行				発行

区長へ提言

フォーラム
等の開催